静岡県川根本町　個別施設計画（トンネル）

【計画期間】令和５年～令和９年（５年間）

●老朽化対策における基本方針
・全ての管理トンネルについて予防保全型の管理を行い、長寿命化を推進し、道路交通の安全性確保、維持管理コストの削減に努める。

●新技術等の活用方針
・定期点検や修繕において、新技術の活用を含めた比較検討を行い、事業の効率化やコスト縮減を図ります。
・従来技術を活用した場合と比較して、令和９年度までに管理するトンネルの点検１箇所程度で新技術の活用を行い、約5%のコスト縮減を目指します。

●費用の縮減に関する具体的な方針（集約化・撤去等を含む）
・集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理するトンネルは山間部に位置しており、迂回路がない路線であることから社会活動等に影響を与えるため、集約化・撤去を行うことが困難である。

【対策の優先順位の考え方】診断Ⅳ判定＞診断Ⅲ判定＞診断Ⅱ判定

※診断Ⅳについては直ちに対策を行い、診断Ⅲについては点検実施から5年以内に対策を行うものとする。診断Ⅱについては重要度（利用性や被害波及性など）を考慮し、計画を策定。

施設名		路線	建設年度	延長（m）	点検計画										点検記録			修繕計画										対策内容	対策費用（百万円）
トンネル名	（ﾌﾘｶﾞﾅ）	路線名			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	点検実施年度 ・H30年度 ・R1年度 ・R2年度 ・R3年度 ・R4年度 ・R5年度 ・R7年度 ・R8年度 ・R9年度	判定区分 一巡目 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ	判定区分 二巡目 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
千頭隧道	（ｾﾝｽﾞｲﾄﾞｳ）	町道千頭澤間支線3号	1953	108.6			○					○			R7年度	Ⅱ	Ⅱ									次回点検時まで経過観察	
接岨トンネル	（ｾｯｿﾄﾝﾈﾙ）	町道関蔵線	1998	704.0			○					○			R7年度	Ⅱ	Ⅱ									次回点検時まで経過観察	